

ホーム
ページ
こちらですにし
虹のかけ橋
はし

転出者お別れ号

発行 校長

先生方 どうぞお元気で!

この度の人事異動により、ご退職、ご栄転される先生方からメッセージをいただきました。学校を離れても、岩谷小の子どもたちのことを見守っていただきね。お元気で過ごされますことを心よりお祈りいたします。

教務主任 今野 誠先生 (ご退職)

岩谷小学校の校内には、沢山の素敵な言葉が掲示されています。その中の「優しくできる人は、心がとても強い人」という言葉が、一番好きです。とても優しい岩谷っ子が、もうちょっとの勇気と自信をもつことができれば、更に強く逞しい岩谷っ子になれると信じています。

優しい岩谷っ子と職員の方々、そして優しく子どもたちを見守ってくださる地域の方々
に囲まれながら、最後の教員生活を送ることができて、とても幸せでした。

2年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

主任主査 島田 郁彦先生 (潟上市立大豊小学校へ)

豊かな自然の山々、すぐそばにある海、そして地場産の美味しいお肉とお酒等々、十分堪能させていただきました。そんな環境の中で岩谷っこの皆さんと一緒にサッカーをしたり、将棋をさしたり本当に楽しい瞬間の連続でした。岩谷小で勤務させていただき、本当にあっという間の幸せな4年間でした

自宅から岩谷小までは50km近い距離があり離れていますが、たまにふらっと出かけて「ぽぽろっこ」で温泉に入っていることもあると思います。そのときは声をかけてくださいね!!

養護教諭 畑山 昌子先生 (ご退職)

大変お世話になりました。3月は別れの季節です。皆様とご縁があったから出会うことができました。久しぶりに1年間続けて執務することができました。素直で屈託ない子どもたちを保健室から見守ってきました。時には「え!それで良いの?」と注意することもありました。それは、安全・安心な学校生活ができるようにサポートしたからです。

また、保健室では保健室登校のサポートもしました。学校だよりも紹介してあげましたが、HSCのために教室で過ごせない児童や生徒が、世の中にはたくさんいるのです。自分の気持ちを表せないということは、とても苦しく辛いものです。これからもお互いに”思いやりの心”を大切にして、伝統ある岩谷小学校を作ってほしいです。

1年松組 加藤 陽子先生（子吉小学校へ）

岩谷小学校には、7年間お世話になりました。自分が担任していた子どもたちが6年生になって卒業するのを見て、いつも胸がいっぱいになります。

子どもたちは可能性の塊です。そんな子ども達の成長に関われたことに感謝しています。子どもたちのために一緒にがんばってくれたご家族のみなさん、地域のみなさん、本当にありがとうございました。

岩谷小学校のみなさん、未来の”素敵な自分”にたどり着けるように、これからもがんばってくださいね。私はずっとみなさんを応援していますよ。今までなかよくしてくれてありがとう。

学習サポート 菅原利恵子先生（鶴舞小学校へ）

岩谷小学校は、教員・サポートを合わせて「8年間」という人生で一番長い期間お世話になった思い出深い学校です。

来年度150周年を迎える伝統ある岩谷小学校の良いところは引き継ぎながら、新しい伝統を創り上げて行ってほしいと願っています。

生活サポート 佐々木美和先生（大内小学校へ）

3年間、大変お世話になりました。

岩谷っ子と過ごした日々は、毎日が楽しくて、本当にあっという間の3年間でした。

4月からは岩谷から少しだけ離れた大内小学校に勤務します。これからはずっとずっと岩谷っ子の活躍をお祈りします。ありがとうございました。

校長 運藤 良和（役職定年・教諭として尾崎小学校へ）

朝、校門に立っていると、「おはようございます。」から雑談が始まり、友だちの話やアイドルの話、休みの日の出来事などを教えてくれたりする子がたくさんいます。その会話は、まるでボケとツッコミのように楽しい時間です。そんな時、子どもたちはとてもいい笑顔を見せてくれます。

岩谷の子どもたちの一番のセールスポイントは「素直」であることだと思います。ですから、ほめられると嬉しそうにするし、叱られると途端にシュンとなります。素直でなければ、ほめられるとふてくされ、叱られると反抗してくるのですね。

素直に表現できることは、大切な宝物です。それは、相手の言葉をまっすぐに受け入れることができるからです。勉強であっても、友達づきあいであっても、しっかりと相手の言葉や思いをインプットして、そこに自分の感じたことを付け足してアウトプットする。それはすなわち、他人からのアドバイスを素直に聞き入れて、自分の力に変えていくことです。「学ぶ」とか「成長する」とかいうのは、そういうステップのことだと思います。

だから、岩谷の子どもたちには、ずっと素直でいてほしい。心からそう願っています。少し離れたところから、皆さんの頑張りを応援しています。本当にお世話になりました。